

# 委員会レポート

## 文教厚生委員会行政視察 7/3～5

徳島県  
香川県高松市

- 徳島県における地域医療
- アクティブ・ラーニング



文教厚生委員会は、本市の深刻な医師不足解消に向け「徳島県」にて、先進的な医師確保や養成の取り組みを研修し、地域医療の厳しい状況を再確認するとともに、本県とのシステム体制の違いを強く感じた。

また、アクティブ・ラーニングの先進地である「香川県高松市」にて児童生徒自らが課題を発見し、その解決に向けた主体的・協働的な学び方について研修した。児童生徒の自尊心と学力の向上につながる、有効な学習方法であると感じた。

## 政務活動報告

政務活動費とは、市政に関する調査研究・市政と関連性があるその他の活動に資するために必要な経費の一部として、会派に対し所属議員数に応じて交付されるものです。（1人当たり年額12万円を上限）

|       | 研修者氏名                                      | 研修・調査内容   | 研修地                                   |
|-------|--|---|---------------------------------------|
| 政光会   | 松瀬 清<br>山内 政夫<br>山田 能新                     | 7月19日～22日<br>①クロマグロ陸上養殖について   | ①静岡市：東海大学海洋学部・清水キャンパス                 |
| 志士の会  | 松山 定夫<br>辻 賢治<br>田島 輝美                     | ②農産物市場の現況および特産物について   | ②大阪市：大阪中央卸市場・大果大阪青果（株）                |
| 市民クラブ | 竹山 俊郎<br>吉住 威三美<br>松尾 実                    | ③にぎわいのある商店街の振興について  | ③京都市：錦市場商店街                           |
| 一心会   | 住江 高夫<br>松崎 義昭<br>山内 清二                    | 7月18日～20日<br>①産学官連携によるフルボ酸鉄シリカの効能<br>②フルボ酸鉄シリカの実績調査                             | ①福岡市：福岡大学産学官連携センター<br>②長洲町：熊本北部漁業協同組合 |
| 平戸志誠会 | 近藤 芳人<br>平石 博徳<br>山本 芳久<br>神田 全記<br>大久保 堅太 | 7月17日～19日<br>世界遺産構成資産である<br>なきじんじょう<br>①「今帰仁城跡」の運営調査<br>かつれんじょう<br>②「勝連城跡」の運営調査 | ①今帰仁村（沖縄県）<br>②うるま市（沖縄県）              |
| 立志会   | 川上 茂次<br>綾香 良一                             | ※ 政務活動費の使用なし  |                                       |
| 日共産本党 | 山崎 一洋                                      | ※ 政務活動費の請求なし  |                                       |

全ての報告は、議会事務局にて閲覧できます。

## 議会運営委員会行政視察 7/24～26

兵庫県篠山市  
奈良県宇陀市

- 議会ICT導入
- 常任委員会の運営



議会運営委員会は、会議システム（タブレット）の導入経過、経費、効果について、および常任委員会の運営や、委員会数などを参考にするため、先進地である「兵庫県篠山市」「奈良県宇陀市」にて研修を行なった。

議会のICT化は、議会運営の効率化を図ることができ、本市においても導入の可能性を検討する必要があると感じた。

## 総務委員会行政視察 6/27～30

兵庫県小野市  
東京都奥多摩町

- 行政経営
- 若者定住対策



総務委員会は、独自の行政経営戦略を実践している「兵庫県小野市」にて、方針管理制度（職員の意識改革）などを研修した。行政運営には職員の意識改革が必要であり現状打破と新たな創造が必要であると感じた。

また、本市においても課題である若者の定住対策について「東京都西多摩郡奥多摩町」にて研修し、定住した際の利点をガイドブックにし、目に見える施策の展開は参考になった。

## 産業建設委員会行政視察 7/10～13

兵庫県篠山市  
徳島大学

- 黒まめの生産・流通・販売に対する行政の関わり
- 磯やけに対する環境活性コンクリートの可能性



産業建設委員会は、ブランド農産物「黒まめ」に特化した課を創設し販売戦略を強化している「兵庫県篠山市」にて、創設の経過や効果などを研修した。種苗の管理や、官民一体での運営体制は、本市においても、将来的に十分効果があるものと感じた。

また、近年問題となっている磯やけ対策について「徳島大学」にて、環境活性コンクリートがもたらす磯やけの回復について研修し、本市漁場の環境改善・水産振興につながる可能性を感じた。